

<九中の特色> 早朝の体育的活動「RUNRUN（ランラン）倶楽部」！

今年度は、月・水・金曜日で活動しています。保護者や地域の方も大歓迎です。一緒にどうぞ！



九中生のみなさんへ 「ランランクラブ」のご案内

みんなで気軽に体を動かそう！



RUNRUN倶楽部

今年は申込不要。いつでもどうぞ！

「走ってランラン！」 「動いてルンルン！」 自分のペースで、楽しく健康・体力づくり！

（部活動の自主練習や、鍛えたくて「ガンガン」走りたい人も大歓迎！）

■ 校庭で、それぞれの力や好みに応じてランニングやウォーキング、軽運動などに取り組みます。

■ <参加自由>九中生なら誰でも参加できます。

<月・水・金曜日の朝7時15分から7時45分まで>

※ 参加は任意です。都合の良い日、気が向いた日に参加してください。
※ いつでも、だれとでも参加OK！気軽に参加して体力向上を目指そう！

- (1) 祝日・長期休業期間などの学校が休みの日や、定期考査1週間前は、活動しません。
- (2) 雨天及び校庭のコンディション不良などで、走ることに支障がある場合は体育館で行います。ただし、体育館で部活動の朝練習がある場合は、中止となります。
- (3) 参加日は、それぞれ個人の裁量で決定します。体調がすぐれないときは、無理をしないようにしてください。
- (4) 登校は、午前7時以降とします。7時には学校に入れませんので注意してください。
- (5) 運動時の服装は、学校指定の体育着を基本としますが、自分が持っている運動に適した服装でも構いません。また、標準服を持参し、運動に適した服装で登校しても構いません。
- (6) 荷物は、1階第二会議室に置くようにします。着替えは、更衣室でお願いします。

「文京九中 ここにあり」



平成29年度 第2号
平成29年5月10日発行



文京区立第九中学校 校長 小 椋 孝
TEL 03-3821-7178 FAX 03-5685-4955
HP <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/daikyuu-jh/>

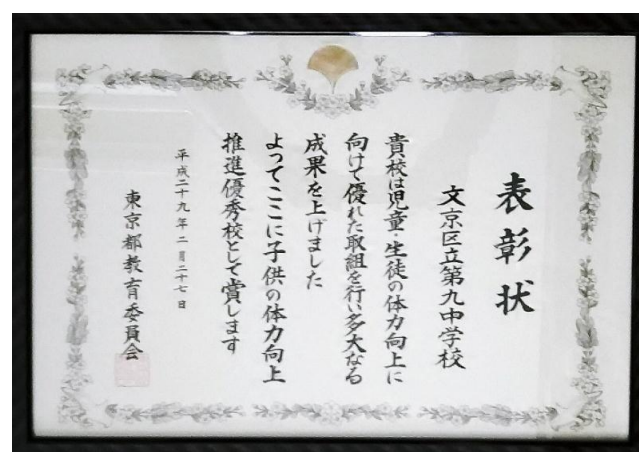
東京都教育委員会から二つの表彰を受けました

東京都教育委員会は、児童・生徒の体力向上を目指し、優れた取組を実践している学校を「子供の体力向上推進優秀校」として顕彰していますが、平成28年度優秀校112校の中に本校が選出されました。

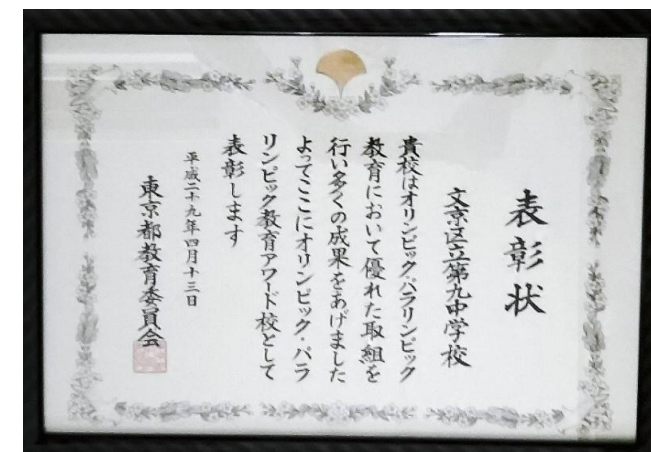
体力の状況としては、それほど優れた成果を残しているわけではありませんが、東京都教育委員会から「スーパーアクティブスクール」の指定を受け、保健体育授業の工夫・改善、日本体育大学との連携、早朝の体育的活動「RUNRUN（ランラン）倶楽部」の創設、外部指導員を活用した部活動振興などの取組が総合的に評価されたものだととらえています。今回の表彰を励みとして、様々な機会を生かしてより一層「生きる力の源」となる体力の向上に努めてまいります。

また、東京都教育委員会は、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、スポーツを人類の調和のとれた発展に役立てるというオリンピズムの目的を学校教育に生かすことをねらいとして、都内全公立学校・園を「オリンピック・パラリンピック教育推進校」として指定しています。

今般、平成28年度に優れたオリンピック・パラリンピック教育を行った136学校・園を「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」として顕彰しましたが、本校のオリンピックやパラリンピック、日本の伝統・文化の専門家などを活用した取組が認められ、こちらの表彰にも選出されました。体力向上と同様に、今回の表彰を励みとして今後ともこれらの特色ある取組を推進し、子どもたちにスポーツや伝統・文化の価値を生かした望ましい態度の育成を図ってまいります。



「子供の体力向上推進優秀校」表彰状



「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」表彰状

社会科の学習教材の寄贈をいただきました

1年2組の行徳さんのご家庭から、学習まんが「日本の歴史」全20巻を寄贈していただきました。ご家族が編集に携わっているご縁からお話をいただいたのですが、図書館に置いて、本校生徒の学習に役立てていきたいと存じます。ご配慮に心から感謝申し上げます。この本には、視覚的で分かりやすい中にも専門用語を使って内容の深いものになっており、予習・復習から発展的な学びも可能になっているとの推薦文がありました。興味のある人は、ぜひ実際に手にとって活用してみてください。



<九中の特色> 放課後の学習支援教室がスタートしました！

本校では、昨年度まで学校支援地域本部のご協力により「東大生による学習教室」を開催し、放課後の自主的な学習活動の支援に努めてまいりましたが、今年度は装いも新たに「九中学習相談室・自習室」としてスタートしました。今年度は、「静かな環境で集中して取り組みたい」という声と「指導者の学生の方に気軽に声を掛けたり、友達とも相談したりしながらリラックスして取り組みたい」という声に対応するため、管理運営に携わっている学校支援地域本部のボランティアの皆さんとも相談して、二つの教室でその雰囲気や在り方を分けることにしました。自主的な学習の取組であるということをお前提としながら、「九中学習相談室・自習室」の趣旨をとらえ、多くの皆さんの学習習慣の定着に役立ててほしいと考えています。

「東大生による学習教室」がリニューアル！

「九中学習相談室・自習室」のご案内

本校では、生徒の自主的な学習の支援及び学習習慣の定着を目指し、「学校支援地域本部」の地域ボランティアの方のご支援をいただき、特色ある教育活動の一環として放課後に「東大生による学習教室」を実施してまいりました。

今年度からは、さらなる活用を目指し、学習方法を相談したり、仲間と共に学習に取り組んだりする学習相談室と静かな環境の中で学習に取り組む自習室を開設することにしました。いずれも、東大生・理科大生などが親身にサポートし、皆さんの質問や疑問に対応してくれます。

なお今年度は、「学校で集中して取り組みたい」「今日のうちにやっておきたい」「分からないところを教えてもらいたい」などという学習の欲求にリアルタイムに対応することをねらいとして、地域ボランティアの方が名簿により参加者を把握、管理することで、申込を不要としました。ぜひ次のことをご確認いただき、この機会を活用して積極的・主体的に学習に取り組みたいという生徒の参加をお待ち申し上げます。

（問合せ先／小椋校長・伴副校長 ☎3821-7178）

■ 指導者	東京大学・東京理科大学の学生等（1日2～3人を予定）
■ 管理運営	第九中学校支援地域本部地域ボランティアの方々
■ 参加費	無 料
■ 開催期日	原則として、行事等のない月曜日と木曜日
■ 開催時間	午後4時から5時30分まで

<このようなときにぜひご利用ください>

- 問題の解き方を教えてもらいたい。
- 勉強の仕方を聞いてみたい。
- 授業で学んだことをしっかりと定着させたい。
- 授業で学んだことをさらに深めたい。
- 予習、復習をしっかりとやりたい。
- 考え方をアドバイスしてほしい。
- 高校入試の対策にしっかりと取り組みたい。
- 家以外で、集中して学習に取り組む場がほしい。
- 宿題を早く終わらせたい。

など

※ 各自の目的に応じて、学習相談室と自習室を上手に使い分けることが学習の効率を上げるコツです！

※ 詳しくは、右側の利用方法をご覧ください。

<ゴールデンウィーク明けの5月8日（月）からスタートしました！>

「九中学習相談室・自習室」の利用方法

- ① 開設時間は、午後4時から5時30分までです。途中での入室・退室も可能です。
- ② 自学自習を基本とし、それを学生の指導者がサポートする形をとっていますので、必ず自分で取り組みたい教材や問題を持参してください。
- ③ 会場は、3階第二・第三多目的室です。第三多目的室で学校支援地域本部のボランティアの方が受付をしていますので、学年・組・出席番号・氏名をはっきりと伝えて、名札を受け取ってください。また、「学習相談室」と「自習室」のどちらを利用するかを伝えてください。
- ④ 名札を受け取り、それぞれの教室に入って目的に応じた学習を始めてください。指導者の方は、両方の教室に分かれているか、教室を行ったり来たりします。
- ⑤ 退室するときは、第三多目的室にいる学校支援地域本部のボランティアの方に名札を返却します。利用を終えたら、すみやかに下校しましょう。用もないのに残っているようなことがあると、せっかくの学習相談室・自習室の良い取組が続けられなくなってしまいますので気を付けましょう。

【参加する際の約束事】

- 自ら目的と課題をもち、進んで学習に取り組みましょう。
- 他の人の迷惑にならないように配慮しましょう。
- 東大生や理科大生の指導者の方を積極的に活用しましょう。
- 地域ボランティアの方の指示を素直に聞きましょう。

<二つの教室の性質の違いを理解して、上手に活用しましょう>

【第二多目的室：自習室】

- 静かに集中して学習に取り組みます。そのため、私語は厳禁とします。
- 分からないところや聞きたいところがあれば、遠慮なく指導者の方に質問してください。手を挙げれば近くに来てくれます。

【第三多目的室：学習相談室】

- 学生の指導者の方に解き方を質問したり、取り組み方を相談したりしながら学習を進めます。
- 効率的な学習の仕方について、アドバイスしてもらっても良いでしょう。少しリラックスした雰囲気でも学習に取り組むことができます。
- 仲間と一緒に取り組むこともできます。ただし、学習を深めるために必要な話はしても構いませんが、無駄な話や、学習をする雰囲気をこわす会話はしないように心掛けましょう。